

第二十回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会 準優勝

第二十回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会が11月9日から10日にかけて福井県で開催され、島根県代表として出場した仁多・横田中学校合同チームは、決勝戦で滋賀県と対戦し前後半を0-0で終え、シュートアウト戦の結果3-5で敗れましたが、見事準優勝に輝きました。

前半は、攻め込む時間が多くありましたが、得点に繋げることができず、後半は、相手にペースを握られ、守備にまわる時間が多くなりました。



八川地区小さな拠点づくり

八川地区では、地域の現状や課題などを把握するためのアンケートを実施され、アンケート結果に基づき、高齢者支援検討部会、子育て支援・教育の充実等検討部会、産業振興検討部会、地域のつながり検討部会の4つの検討部会を設置し、アンケート分析作業と課題解決のためのアイデア提案の作業を進めてこられました。

そのアイデアの中から地元の地域資源の活用と賑わいの創出、地域住民の集いの場を提供するために11月12日から17日にかけて、郷土資料館のライトアップが行われました。15日の夜には、「新そばを楽しむ会」も開かれ、ライトアップされた紅葉を楽しみながら、川西そば打ち倶楽部の打つ新そばに舌鼓を打ちました。



郷土資料館ライトアップの様子

阿井地区サロン「ぶらっと・ふらっと・ふるさと」令和元年度地域貢献・地域活性化団体活動を受賞

おめでとうございます

JAしまねでは、人口減少が進む中で、地域コミュニティの維持・発展をはかるために、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体を表彰、支援し、地域の活性化に貢献されています。

このたび、上阿井で活動されている「ぶらっと・ふらっと・ふるさと」が令和元年度「地域貢献・地域活性化団体活動」で表彰されました。

「ぶらっと・ふらっと・ふるさと」は地元で唯一あった商店が閉店し、買い物・交流の場がなくなったことをきっかけに週2回活動を始められました。60歳代から90歳代までの地域の皆さんが週に2回、上阿井交流センターへ集まります。ここでは、「あなたがスタッフ!」と決めず、「動ける人が動く」というスタンスで、お互いサポートしながら、楽しく交流をされています。

毎週火・金曜日にある活動では、ゲームを通して交流する時間があり、その後、買い物をする時間が設けられます。この日のゲームは、主語「○○が」を考えるチーム、述語「○○しました」を考える2チームに分かれ、それぞれ紙に書いていきました。そして、それぞれ1枚ずつ引いて1つの文章を完成させました。「大仏様が」「子守をしました」など、想像もしなかった文章が出来上がると、皆さん大笑いをしていました。

ゲーム後は、買い物の時間で、「いくつになっても、自分の物は自分で買いたい」という言葉通り、阿井食品センターから運ばれてきた商品を、真剣に選び、買い物をされました。

「家に一人であるなら、ここへ来て、おしゃべりがしたい」という皆さん。この日も、とてもいい笑顔での交流でした。



横田蔵市から子どもたちへのプレゼント♪

横田蔵市から町内の幼稚園への図書券の寄贈

12月2日、絵本を購入してほしいと、横田蔵市から仁多福社会の幼稚園に図書券が贈呈されました。

横田蔵市は、地域に貢献するため、2年前から子どもたちにスポーツ用品や本等を寄贈されています。今年度は10月6日から20日にかけて、お客様が買い物をされたレシートを蔵市内に設置した箱に入れてもらい、その金額の一部を寄贈されました。「地域の方の温かさが子どもたちに伝わり、奥出雲町はいいところだと感じてくれると嬉しい」と話されました。



絵本大好き♪



▲(左)横田蔵市の安郷理事長 (右)仁多福社会の藤原理事長

全国巡回型「2019秋 森の教室」が開催されました



▲キャラクターショーの様子

11月8日、公益財団法人国土緑化推進機構と島根県緑化推進委員会の主催で、町内8幼稚園の年長園児を対象に、全国巡回型「森の教室」が横田幼稚園で開催されました。緑豊かな自然を将来にわたって維持していくことは、世代、地域を越えて取り組むべき重要な課題であるため、古来より日本人が森林と深く関わり生活してきたことと森林がもつ様々な役割や大切さをキャラクターショー等を通して伝えました。そして、最後にどんぐりの種まきをしました。



大きくならね♪

広島方面からのツアー客に奥出雲町の食や文化、JR木次線なども楽しんで頂きました。



▲川西そば工房で奥出雲の新そばを使って、そば打ち体験

木次線利活用推進協議会(勝田康則会長)は10月30日、ひろでん中国新聞旅行(株)協力のもと、広島方面からのツアー客を対象とした「スイッチバックと奥出雲たたら製鉄の歴史を五感で学ぶ旅」を行いました。

JR広島駅発のバスに乗って参加されたお客様29名は、一部行程でJR木次線に乗り、奥出雲の食と景色、たたら製鉄にまつわる歴史や文化などを楽しめました。



▲糸原記念館を訪問



▲奥出雲たたらと刀剣館で、たたら製鉄の仕組みを現代風にアレンジした「ミニミニたたら」を体験



▲木次線名物のスイッチバックを体験